

《女子バスケットボール部》

部活のモットー 「全員レギュラー 全員補欠」

Q 新チーム(1・2年生チーム)の活動はいかがですか。
今年の新人戦は勝ち進んでいて、(令和7年) 1月に行われる試合で勝てば東京都ベスト16に入ります。部員は少ないですが、普段の練習を大事に頑張っています。

Q なぜ、文・スポ推薦を選択しましたか。また、そのために心掛けたことは何ですか。
高島高校は文武両道を掲げていて、私自身、高校では勉強と部活のどちらも頑張りたいと思ったので受検を決めました。都立高校の女子バスケ部では実績のある学校だったので高島でプレーしてみたいと思いました。

Q 実際、推薦入試で合格したあとの学校生活はいかがですか。

文武両道を実践するため、入学してからずっと勉強も頑張っています。部活動では攻撃時のディフェンスや、速攻から相手を崩してポイントを狙う戦術を学んでいるので、高度な技を身につけていることも実感していますし、実践できていることが達成感につながっています。練習中の仲間とやっているハイタッチは強い絆で頑張っている気がします。

◎ 顧問からのアドバイス

文・スポ推薦を考えている中学生は是非、基礎・基本となることをできるように頑張ってください。ハンドリング・ピボットターンなど基本的なことがしっかりとできると、高校の試合でも即戦力として試合に出場できるはずです。

Q 中学生へのアドバイス

高島高校の受検を決めるまで、いろいろな学校を見学しました。その中で高島の部活動体験を通して自分が行きたい(通いたい)高校を見つけることが大切だと実感しました。
夏休みの体験部活動から12月の入試直前まで、何度も高島高校に足を運んで練習に参加していたので、高校の先輩たちから受検のアドバイスをもらったり、励ましてもらうことが緊張を打ち消す何よりの自信につながったような気がします。私は高島高校選んで本当に良かったと思いますし、その中で皆さんにも高島高校を選んでもらえると嬉しいです。



猪岡 莉子さん(現在2年生) (板橋区立志村第四中学校出身)

《得意なプレー》

「パスを受けたあとのドライブ」
「ジャンプシュート」



《ソフトテニス部》 「一意奮闘」 一つのことに集中し、仲間とともに全力でやり遂げる！ 西脇 士騎君 (現在1年生) 高島魂ここにあり！ めざせ！！ 関東大会！！ (江戸川区立東葛西中学校出身) 《得意なプレー「カットサービス」「サイドストローク」》 めざせ！！ 東京都ベスト4！！



Q 文・スポ推薦を受検したきっかけは何ですか。また、受検のために心掛けたことはありますか。

高校受験について考えたとき部活を続けたいという気持ちがあり、ソフトテニス部がある学校を探していました。どこの中学校にもソフトテニス部はあるのですが、高校は少ないので、家の近くの学校か、通える範囲のギリギリのところにあった高島が選択肢になりました。

高島の受検を決めたのは夏休みの部活動体験の時で、先輩たちの活動の雰囲気の高さとチームで勝利を目指すために頑張っている姿を見て、高島が一番自分に合っていると感じたからです。部活はやりたいことの1番ですが、勉強を怠ると部活をやるための余裕がなくなるので、普通よりも多く勉強して受検に備えました。特に小論文と面接練習は、かなりやったと思います。

Q 実際、文・スポ推薦で合格したあとの高校生活はいかがですか。

入部してからは技術面はもちろんのこと、人としても成長することができました。前にできなかったことができるようになると、モチベーションが上がり自主的に取り組むようになりました。特に技術面ではコースを狙って打つボールの精度が良くなったし、ペアとのコミュニケーションの取り方などは中学では学べなかったことだと思うので、普段の学校生活でも活かしているような気がします。

Q 中学生へのアドバイス

自分の気持ちを最優先に考えて「この高校なら3年間頑張れる！！」と思った高校に行けるのが一番です。入試前まで面接練習は緊張しなくなるまで何度も練習してみてください。小論文も書いたら何度も先生にみてもらうといいですよ。

◎ 顧問からのアドバイス

高校では自主性が求められるので、「自分は何が好きなのか。自分は将来何をやりたいのか。」をできる限り真剣に考えてみてください。入試まで自分のやってきたことを自信をもって伝えられるように何度も面接練習したり準備をしてください。R 7年度の文・スポ推薦入試でソフトテニス部は「男女問わず2名」の枠になりましたので、希望者は是非一度、高島にお越しください。

